

調査項目解説（畜産物）

「商品」 一般的な名称や品種名等を記載してください。特定のブランド名等がある場合は（ ）で記載してください。

「認証等の種類」 GLOBALG. A. P、JGAP、GAP 取得チャレンジシステム及び組織委員会の認める基準の該当箇所に「○」を記載してください（複数の認証等を取得している場合は複数の認証等を記載してください）。

なお、「組織委員会認める基準」とは、一次生産の SQF 食品安全コード（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の調達基準に準拠するための補遺を含む）を指します。

「認証時期等」 認証の取得又は確認時期を記載してください。なお、申請中又は申請の予定がある場合は、認証・確認予定時期を記載してください（ただし、2020年3月末までに取得・確認する場に限ります）。

「推奨事項の種類」 持続可能性に配慮した畜産物の調達基準の5に基づき、該当するものがあれば「○」を記載してください。

- ・有機畜産：有機畜産により生産された畜産物
- ・放牧畜産：放牧畜産実践農場で生産された畜産物
- ・農福連携：障がい者が主体的に携わって生産された畜産物
- ・エコフィード：エコフィードを用いて生産された畜産物
- ・農場 HACCP：農場 HACCP 認証農場の下で生産された畜産物

（注）各項目の詳細は、大会組織委員会が策定した「持続可能性に配慮した畜産物の調達基準 解説」をご参照ください。

「農業高校等」 農業高校による取組の場合は「○」を記載してください。

「生産者名等」 同一の銘柄牛（豚、鳥、卵等）毎に生産している農家を整理して、同一銘柄毎にエクセルの行を続けて生産者名を記入してください。

例えば「JA○○」や「○○ファーム」などの他、個人の生産者の方は「農水太郎」などの個人名を記載してください。グループ会社等の場合は、認証・確認を取得している農場毎に記載してください。

「生産地」 自らの都道府県で生産している農場の所在地を市町村名まで記載してください。

団体認証など複数の市町村で生産されている場合は複数の市町村名を、備考欄に記載してください。

「最終製品の販売納品業者」 上記「生産者名等」とは別に、最終製品を販売納品する事業者を記載してください。

「販売部位別の供給可能量」 東京大会の期間中（2020年7月中旬～9月上旬）に大会向けに供給可能な（仕向けられる）出荷量（kg）を記載してください。

「供給可能期間」 供給可能量の期間別の内訳量（kg）を記載してください。

「販売部位別の受注単位」 受注可能となる最低量（ロット）を記載してください。（「○○箱（○○kg入り）」）

「販売部位別の最終納品価格」 販売部位別に最終納品価格を記載して下さい（円/kg）

※部位別の情報（供給可能量、供給可能期間、販売部位別の受注単位、販売部位別の最終納品価格）は、必要に応じて、エクセルシート上で、農家毎に記入行を増やしてください。

「保存・加工方法」 チルド、冷凍、加工のうち、独自で対応可能なものに「○」を記載してください。委託加工で提供できる場合は「△」を記載してください。

「納品業者から指定地までの輸送料金」 供給価格に加え別途送料が発生する場合は、最低量（ロット）発送時における生産地から東京23区内までの概ねの送料を記載してください。

「都道府県担当者」 飲食提供事業者等が相談する際の連絡先を記載してください。

「問い合わせ先」 飲食提供事業者等が相談、発注する際の連絡先を記載してください。問い合わせ部署、担当者名、電話番号などを記載してください。

「備考」 調査票に記載した部位別最終納品価格に対応する商品の荷姿（カット・加工の程度、チルド・冷凍の区別）を記入してください。この他、対応可能な加工方法や対応可能なカットの種類、冷凍加工などの追加で記載できる情報（その場合の最終納品価格等も含む）のほか、委託加工があれば、備考に詳細を記載してください。上記以外に留意点や商品の特徴などPR事項等があれば記載してください。例) 雌のみを出荷、飼料用米を給与など。

*共通リストの記入に際しては、同一銘柄毎に複数の供給可能農家がある場合は、供給可能量を合算してまとめた上でご記入ください。（旬別供給可能量欄も同じ。）その際、問い合わせ先欄には、最終納品業者が複数となる場合は、すべて記入してください。